

表1 事故件数の年度別推移

[件]

製品区分	年度													
	平成 9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度		
01.家庭用電気製品	333 (29.4%)	303 (29.9%)	268 (28.0%)	636 (44.0%)	684 (44.6%)	827 (48.2%)	628 (39.4%)	941 (44.4%)	741 (36.2%)	1,190 (39.1%)	2,420 (40.3%)	< 550> (49.5%)	2,392 (50.2%)	< 733> (53.2%)
02.台所・食卓用品	40 (3.5%)	21 (2.1%)	18 (1.9%)	37 (2.6%)	17 (1.1%)	16 (0.9%)	24 (1.5%)	23 (1.1%)	22 (1.1%)	70 (2.3%)	115 (1.9%)	< 8> (0.7%)	140 (2.9%)	< 14> (1.0%)
03.燃焼器具	346 (30.6%)	334 (32.9%)	357 (37.3%)	306 (21.2%)	426 (27.8%)	505 (29.5%)	540 (33.9%)	565 (26.7%)	853 (41.7%)	1,126 (37.0%)	1,408 (23.4%)	< 336> (30.3%)	1,003 (21.1%)	< 418> (30.3%)
04.家具・住宅用品	47 (4.2%)	30 (3.0%)	27 (2.8%)	29 (2.0%)	59 (3.9%)	54 (3.2%)	65 (4.1%)	53 (2.5%)	73 (3.6%)	155 (5.1%)	281 (4.7%)	< 64> (5.8%)	329 (6.9%)	< 81> (5.9%)
05.乗物・乗物用品	172 (15.2%)	169 (16.7%)	168 (17.6%)	179 (12.4%)	177 (11.6%)	185 (10.8%)	155 (9.7%)	324 (15.3%)	183 (8.9%)	189 (6.2%)	154 (2.6%)	< 60> (5.4%)	168 (3.5%)	< 53> (3.8%)
06.身のまわり品	69 (6.1%)	60 (5.9%)	50 (5.2%)	99 (6.9%)	95 (6.2%)	77 (4.5%)	73 (4.6%)	98 (4.6%)	86 (4.2%)	218 (7.2%)	1,253 (20.9%)	< 65> (5.9%)	426 (8.9%)	< 40> (2.9%)
07.保健衛生用品	40 (3.5%)	24 (2.4%)	20 (2.1%)	57 (3.9%)	34 (2.2%)	11 (0.6%)	19 (1.2%)	51 (2.4%)	17 (0.8%)	25 (0.8%)	119 (2.0%)	< 9> (0.8%)	32 (0.7%)	< 5> (0.4%)
08.レジャー用品	47 (4.2%)	38 (3.7%)	28 (2.9%)	36 (2.5%)	27 (1.8%)	23 (1.3%)	31 (1.9%)	42 (2.0%)	59 (2.9%)	29 (1.0%)	111 (1.8%)	< 13> (1.2%)	108 (2.3%)	< 17> (1.2%)
09.乳幼児用品	11 (1.0%)	9 (0.9%)	7 (0.7%)	23 (1.6%)	8 (0.5%)	8 (0.5%)	49 (3.1%)	19 (0.9%)	6 (0.3%)	21 (0.7%)	131 (2.2%)	< 4> (0.4%)	134 (2.8%)	< 12> (0.9%)
10.繊維製品	15 (1.3%)	8 (0.8%)	10 (1.0%)	17 (1.2%)	5 (0.3%)	7 (0.4%)	9 (0.6%)	4 (0.2%)	7 (0.3%)	20 (0.7%)	13 (0.2%)	< 1> (0.1%)	31 (0.7%)	< 5> (0.4%)
11.その他	11 (1.0%)	19 (1.9%)	3 (0.3%)	25 (1.7%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	< 0> (0.0%)	0 (0.0%)	< 0> (0.0%)
合計	1,131 (100.0%)	1,015 (100.0%)	956 (100.0%)	1,444 (100.0%)	1,532 (100.0%)	1,714 (100.0%)	1,593 (100.0%)	2,120 (100.0%)	2,047 (100.0%)	3,043 (100.0%)	6,007 (100.0%)	<1,110> (100.0%)	4,763 (100.0%)	<1,378> (100.0%)

(注)1. 下段( )内の数字は、各年度の通知件数に占める製品区分毎の割合(%)です。

2. 平成19、20年度の<>内件数は、経済産業省から重大製品事故情報として通知のあったものについて平成21年3月31日までにNITEが受け付けを行ったものであり、内数です。



表2 製品区分別被害状況

平成20年度  
[件]

製品区分	被害状況 合計	人的被害の発生した事故			人的被害の発生しなかった事故		
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	被害なし
01.家庭用電気製品	2,392 2,420 1,190	28 61 67	57 48 37	227 212 153	735 906 609	1,172 1,127 301	173 66 23
02.台所・食卓用品	140 115 70	0 0 0	16 10 6	46 50 39	9 16 6	57 32 15	12 7 4
03.燃焼器具	1,003 1,408 1,126	59 87 69	21 37 46	164 269 249	373 642 556	317 309 146	69 64 60
04.家具・住宅用品	329 281 155	24 16 10	73 64 21	137 77 40	20 13 41	47 106 41	28 5 2
05.乗物・乗物用品	168 154 189	7 13 13	44 52 16	59 50 40	4 4 26	44 28 93	10 7 1
06.身のまわり品	426 1,253 218	1 3 2	37 56 20	171 1,040 88	51 61 66	140 76 35	26 17 7
07.保健衛生用品	32 119 25	0 2 2	4 5 3	18 82 10	5 14 8	1 9 2	4 7 0
08.レジャー用品	108 111 29	1 11 7	17 16 4	30 29 12	3 4 2	48 47 3	9 4 1
09.乳幼児用品	134 131 21	1 1 0	11 5 0	80 42 12	0 25 1	29 21 5	13 37 3
10.繊維製品	31 13 20	1 1 4	3 2 1	20 7 14	0 0 0	1 0 0	6 3 1
11.その他	0 2 0	0 1 0	0 0 0	0 1 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0
総計	4,763 6,007 3,043	122 196 174	283 295 154	952 1,859 657	1,200 1,685 1,315	1,856 1,755 641	350 217 102

(注)1. 被害状況については、製品の問題の有無を問わずにみた件数である。

2. 重傷とは、全治1か月以上のけがをいう。

3. 拡大被害は、製品以外に他の物的被害に及んだものをいう。

4. 各欄内の数値は(平成20年度、平成19年度、平成18年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の被害状況を集計したものである。

表3 製品区分別事故原因

平成20年度  
[件]

事故原因 製品区分	A:専ら設計上、製造上又は表示等に問題があったと考えられるもの	B:製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの	C:製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したものと考えられるもの	D:業者による工事、修理又は輸送中の取り扱い等に問題があったと考えられるもの	E:専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの	F:その他製品に起因しないと考えられるもの	G:原因不明のもの	重大製品事故	[小計]調査が終了したもの	H:調査中のもの	合計
01.家庭用電気製品	490 832 242	27 55 75	25 88 72	18 49 36	88 298 218	30 56 35	128 342 335	126 337 -	932 2,057 1,013	1,460 363 177	2,392 2,420 1,190
02.台所・食卓用品	13 37 17	0 13 7	0 3 1	0 0 0	10 16 5	0 2 5	44 20 29	6 6 -	73 97 64	67 18 6	140 115 70
03.燃焼器具	90 97 106	3 3 5	4 32 53	17 46 32	177 746 711	16 31 20	53 188 164	29 90 -	389 1,233 1,091	614 175 35	1,003 1,408 1,126
04.家具・住宅用品	21 115 98	9 6 5	2 5 2	6 10 1	27 56 26	16 1 3	83 18 15	7 30 -	171 241 150	158 40 5	329 281 155
05.乗物・乗物用品	22 44 16	0 4 0	0 1 7	1 3 10	21 19 50	3 11 3	13 18 93	3 33 -	63 133 179	105 21 10	168 154 189
06.身のまわり品	98 1,017 38	118 61 87	0 2 0	0 0 0	14 27 24	5 8 9	41 54 53	6 16 -	282 1,185 211	144 68 7	426 1,253 218
07.保健衛生用品	2 13 1	0 26 0	0 0 0	0 0 0	3 18 12	1 4 5	1 45 6	1 7 -	8 113 24	24 6 1	32 119 25
08.レジャー用品	31 48 5	0 4 2	2 1 0	0 0 0	5 9 3	3 15 4	9 16 13	3 5 -	53 98 27	55 13 2	108 111 29
09.乳幼児用品	46 11 8	0 7 2	0 0 0	0 0 0	3 7 2	1 1 1	10 96 6	1 3 -	61 125 19	73 6 2	134 131 21
10.繊維製品	5 4 10	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 3 5	1 2 2	0 2 3	0 0 -	6 11 20	25 2 0	31 13 20
11.その他	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 1 0	0 1 0	0 0 0	0 0 0	0 0 -	0 2 0	0 0 0	0 2 0
合計	818 2,218 541	157 179 183	33 132 135	42 109 79	348 1,200 1,056	76 131 87	382 799 717	182 527 -	2,038 5,295 2,798	2,725 712 245	4,763 6,007 3,043

(注)1. 各欄内の数値は(平成20年度、平成19年度、平成18年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の事故原因を集計したものである。

2. 重大製品事故とは、経済産業省に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表4 事故原因別被害状況

平成20年度  
[件]

事故原因	被害状況 合計	人的被害の発生した事故			人的被害の発生しなかった事故		
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	被害なし
A:専ら設計上、製造上又は表示等に問題があったと考えられるもの	818 2,218 541	0 0 1	3 17 8	172 1,092 100	37 185 178	587 895 211	19 29 43
B:製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの	157 179 183	1 0 0	0 2 33	25 73 68	13 25 55	110 63 25	8 16 2
C:製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したものと考えられるもの	33 132 135	0 0 0	0 1 3	4 9 14	8 43 48	19 76 67	2 3 3
D:業者による工事、修理又は輸送中の取り扱い等に問題があったと考えられるもの	42 109 79	1 3 2	2 5 3	12 16 14	17 46 36	9 34 21	1 5 3
E:専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの	348 1,200 1,056	17 77 91	27 71 62	102 288 271	125 596 542	67 131 75	10 37 15
F:その他製品に起因しないと考えられるもの	76 131 87	1 16 9	10 18 3	28 27 20	22 50 38	11 14 10	4 6 7
G:原因不明のもの	382 799 717	11 39 61	12 21 32	126 189 135	78 262 320	128 200 147	27 88 22
重大事故	182 527 0	0 25 0	28 85 0	4 39 0	94 256 0	54 120 0	2 2 0
[小計]調査が終了したもの	2,038 5,295 2,798	31 160 164	82 220 144	473 1,733 622	394 1,463 1,217	985 1,533 556	73 186 95
H:調査中のもの	2,725 712 245	91 36 10	201 75 10	479 126 35	806 222 98	871 222 85	277 31 7
合計	4,763 6,007 3,043	122 196 174	283 295 154	952 1,859 657	1,200 1,685 1,315	1,856 1,755 641	350 217 102

(注)1. 各欄内の数値は(平成20年度、平成19年度、平成18年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき事故原因別の被害状況を集計したものである。

2. 重大製品事故とは、経済産業省に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表5 製品区分別再発防止措置等の実施状況

(製品に起因する事故)平成20年度  
[件]

製品区分	再発防止措置の実施状況			製品の交換、部品の交換、安全点検等を行ったもの	製品の製造、販売又は輸入を中止したもの	製品の改良、製造工程の改善、品質管理の強化等を行ったもの	表示の改善、取扱説明書の見直し等を行ったもの	政府、団体、事業者等の広報等により消費者に注意を喚起したもの	被害者への措置、損害賠償、製品交換等、個別的な措置												
	措置実施件数																				
01.家庭用電気製品	961	1,102	377	621	778	228	30	81	27	460	589	243	50	109	41	660	866	300	702	887	318
02.台所・食卓用品	81	78	45	10	23	25	23	33	29	52	49	33	21	23	11	48	23	27	64	56	35
03.燃焼器具	181	239	168	147	154	124	2	16	6	111	85	101	7	12	15	94	196	129	84	157	130
04.家具・住宅用品	135	177	117	49	120	94	18	25	58	56	136	100	12	24	12	103	103	66	118	132	85
05.乗物・乗物用品	53	80	25	43	50	14	10	9	2	33	32	13	8	5	5	35	47	17	37	45	14
06.身のまわり品	270	1,152	153	102	1,050	111	10	13	12	60	109	57	35	74	85	236	1,114	113	117	1,074	97
07.保健衛生用品	8	57	3	1	41	1	1	40	1	5	7	2	2	9	1	2	45	1	5	45	2
08.レジャー用品	57	58	12	41	37	5	9	9	4	32	45	6	5	12	4	28	39	6	36	46	9
09.乳幼児用品	97	108	18	57	87	8	14	90	7	91	18	10	27	10	5	77	91	8	68	97	13
10.繊維製品	13	7	14	8	5	8	5	5	1	13	2	11	1	1	3	6	6	10	8	7	9
合計	1,856	3,058	932	1,079	2,345	618	122	321	147	913	1,072	576	168	279	182	1,289	2,530	677	1,239	2,546	712

(注)1. 収集された事故に関して複数の措置が取られたものは、措置ごとに集計した。

2. 各欄内の数値は(平成20年度、平成19年度、平成18年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の再発防止措置等の実施状況を集計したものである。

3. 個別措置のみものを除く。